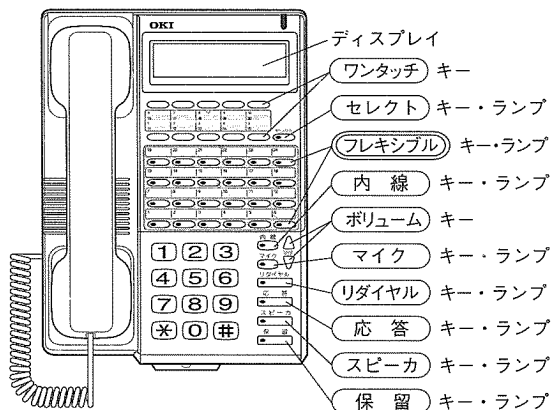


オキビジネスホンSR II フリーラー 操作早見表

(詳細は使用説明書をご覧ください)

■各記号の意味

-  フレキシブルキーを押す。
(外線、機能、DSS、オートダイヤル)
システム短縮ダイヤル
-  固定キーを押す。
(ワンタッチ、セレクト、ボリューム、リダイヤル)
マイク、スピーカ、応答、保留、内線
-  ダイヤルキーを操作する。
-  受話器を上げる。
-  受話器をおろす。
-  データ設定が必要。



24 キー・ディスプレイ付電話機

電話をかけるとき

1



受話器を上げます。

2

外線へかけるとき

- ランプの消えている (外線) キーを押してから相手の電話番号をダイヤルします。

内線へかけるとき

- 相手の内線番号をダイヤルします。

3



相手が応答したら、お話できます。

※外線へかけるときは、操作 2 で、(外線) キーのかわりに (発信) キーまたは 0 ダイヤルでも可能です。

受話器を置いたままかけるとき

- ① 外線へかけるときは操作 1 を省略し操作 2 を行います。
- ② 内線へかけるときは、操作 1 で (スピーカ) キーを押し、次に操作 2 を行います。
- ③ 相手が応答し、スピーカから声が聞こえたら受話器を上げ、お話できます。
※ 相手の応答がない場合は、(スピーカ) キーを押して電話を切ります。

プリセットモードでかけるとき D

- ① 受話器を置いた状態から、相手番号をダイヤルします。
- ② 相手番号をディスプレイで確認し、
 - (内線) キーを押して内線へ発信します。
 - (外線) キーまたは (発信) キーを押して外線へ発信します。

簡単操作で電話をかけるとき

ワンタッチダイヤル

1



目的の相手が登録されている
ワンタッチ キーを押します。
(ワンタッチの1～10の場合)

※ワンタッチの11～20に登録された相手に電話をかけるときは、セレクト キーを押した後 ワンタッチ キーを押します。

2



相手が応答し、スピーカから声が聞こえたら、受話器を上げ、お話しできます。

※受話器を上げた後 ① の操作を行っても発信できます。

短縮ダイヤル

1



短縮 キーを押します。

2

短縮番号 (3桁) をダイヤルします。

※短縮ダイヤルの登録数をグループ毎に、100ヶ所ずつに分け 短縮番号 を2桁とすることもできます。⑤

3



相手が応答し、スピーカから声が聞こえたら、受話器を上げ、お話しできます。

※受話器を上げた後 ① ② の操作を行っても発信できます。

登録操作

- ① 保留 を押す。
- ② 登録したい ワンタッチ キーを押す。
- ③ 番号種別 (0 または 1 または 2) を押す。
- ④ 相手番号をダイヤルする。
- ⑤ 保留 を押す。
- ⑥ スピーカ を押す。

※番号種別

- 相手先が外線の場合は 0 を押します。
- 相手先が内線の場合は 1 を押します。
- 相手先が接続されているPBX内線の場合は 2 を押します。

※リダイヤル 登録

一つ前にかけた相手をワンタッチダイヤルに登録する場合は、③および④の操作のかわりに リダイヤル キーを押します。

登録操作 (システム管理電話機から行います。)

- ① 保留 を押す。
- ② 短縮 を押す。
- ③ 登録したい 短縮番号 をダイヤルする。
- ④ 番号種別 (0 または 1 または 2) を押す。
- ⑤ 相手番号をダイヤルする。
- ⑥ 保留 を押す。
- ⑦ スピーカ を押す。

※ 短縮番号 の桁数を2つのモードから選択できます。⑤

3桁モード	システムで短縮番号を共用します。
2桁モード	使用できる短縮番号をグループ毎に100ヶ所までとします。

※番号種別およびリダイヤル 登録は、ワンタッチダイヤルと同じです。

※短縮番号の設定については、製品(主装置)に添付されている使用説明書をお読みください。

電話を受けるとき

外線からの電話



着信音が鳴り (外線) ランプまたは (応答) ランプが赤色の速い点滅になります。

1



受話器を上げます。

2



赤色の速い点滅をしている (外線) キーまたは (応答) キーを押し、相手とお話します。
(ランプ→緑点灯)

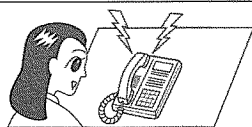
※ ①と②の操作を逆に行っても、電話を受けることができます。

※ (DGL) キー、(MSA) キーへの着信も、同じ操作で電話を受けることができます。

※ 外線からの D I L 着信や付加番号 D I D、PBX ダイヤルイン着信は内線からの電話と同じ操作で電話を受けます。この場合、着信した電話機のディスプレイに D I L または、D I D の表示をします。

内線からの電話

自分の電話機が鳴っているとき

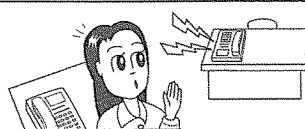


1



受話器を上げれば、相手とお話できます。

近くの電話機が鳴っているとき



1



受話器を上げます。

2



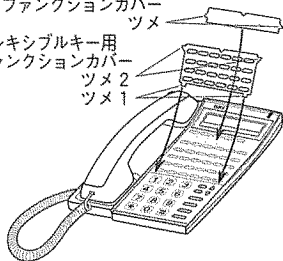
(代理応答) キーを押し、相手とお話します。

※ ①と②の操作を逆に行っても、電話を受けることができます。

ファンクションカバーの取付けかた・取外しかた

取付けかた

ワンタッチキー用
ファンクションカバー
ツメ
フレキシブルキー用
ファンクションカバー
ツメ2
ツメ1

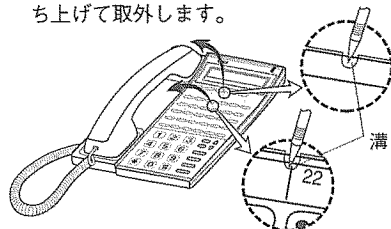


ワンタッチキー用ファンクションカバーは両側のツメを本体の穴にはめ込みます。

フレキシブルキー用ファンクションカバーは、まず、ツメ1 (2カ所) を本体の穴に斜め上から入れます。その後、ツメ2 (2カ所) を本体の穴にはめ込みます。

取外しかた

ファンクションカバー上面の中央付近に半円形の溝があります。シャープペンなど先の細いものでカバーを引っ掛け、持ち上げて取外します。



電話を保留したり、転送するとき

ダイヤルで転送する



電話を転送しますので
少しお待ちください。

1



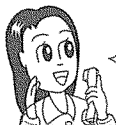
(内線) キーを押します。

2

転送先の内線番号をダイヤルします。

※転送先が応答しなかったり、話中
の場合は (内線) キーを再度押すこと
により、元の相手との通話にもどれ
ます。

3



転送先が応答したら、電話を転送す
る旨を伝え、受話器を置けば転送完
了です。

※ ①と②の操作のかわりに (内線ワンタッチ) キー
を押しても転送できます。

保留したり、口頭で転送するとき



少しお待ちください。

保留



(保留) キーを押し、相手を
保留し受話器を置きます。

※電話機のキーアサインにより以下の
キーに相手を保留します。

相手	キーアサイン	外線キーのみ	パーク保留のみ	外線/パーク両方
外線通話	(外線) キー	(パーク) キー	(外線) キー	
内線通話	無効	(パーク) キー	(パーク) キー	

1

(データ設定により上記と違うキーに保留
される場合があります。)

※ (保留) キーのかわりに (パーク) キーを
押すと (外線) キーがアサインされてい
ても (パーク) キーに保留します。

※ (外線) キーおよび (パーク) キーのラン
プ表示は以下の通りです。

- 自分の電話機 → 橙/緑の遅い点滅
- 他の電話機 → 緑の速い点滅

2



転送する人に声をかけます。

××さん
□番に電話です。

3

声をかけられた人は、受話器を上げ
指定されたキーを押して応答します。

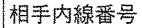
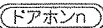
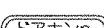
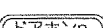
その他の操作①

外線発信	普通のリダイヤル		リダイヤル
	オートリピート		相話中 → → → (外線解放) → (再発信) → オフフック
	ダイヤルメモリ	登録	通話中 → → →
		発信	→ または →
内線発信	音声呼出し		→ → (を押すたびに 音声とトーンの切替え)
	グループ 音声呼出し (D)	呼出し	→ [] →
		応答	→ [#ボタン"/>] →
	DGL グループ 呼出し (D)	発信	→ [] → →
		応答	(応答キー有) → または (応答キー無) 内線呼出音 →
	放送呼出し (オプション)	呼出し	→ [] → → 放送
		応答	→ [#ボタン"/>] → → 呼出内線と通話
共通	交互打合せ通話		※ 通話中 → → → (応答) → (を押すたびに交互通話) ※第三者が外線の場合は、 を押し ダイヤル
	会議通話		※ 通話中 → → → (応答) → → 三者通話 ※参加者が外線の場合は、 を押し ダイヤル

[] は初期設定

(注) オフフック外線自動捕捉機能をご利用されている場合、
上記操作中の◎部分で(内線)を押してください。

その他の操作②

共通	秘話解除	解除者	外線通話中 →  → 三者通話
		参加者	 →  →  → 三者通話
	割込通話 D	内線	 →  → (相手話中) →  → 三者通話
		外線	 →  →  → 三者通話
	集中着信	登録/解除	 → 
	昼/夜モード切替 D	登録/解除	 → 
電話機設定	不在設定	種別登録	 →  →  → ※  →  ※不在種別 (1:[フザイ] 2:[ガイシュツ] 3:[カイギ])
		登録/解除	 → 
	PB送出		通話中 →  →  → (PB 信号送出)
電話機設定	受話音量切替 着信音量調節 LCD コントラスト調節		 →  と ※  を同時に押す →  ※種別 (1:着信音量、2:受話音量、3:LCD コントラスト)
	日付設定 (システム管理電話機のみ)		 →  →  →  (下2桁) →  (2桁) →  (2桁) → ※  (2桁) →  ※曜日 (00:日、01:月、02:火、03:水、04:木、05:金、06:土)
	時刻設定 (システム管理電話機のみ)		 →  →  →  (00~23) →  (00~59) → 
ドアホン	ドアホン着信応答 D		(ドアホン着信中) →  → 
	ドアホン呼出し/モニタ D		 →  ※モニタは  押下のみでも可